

i-station 50シリーズ

電話機の使いかた



技術基準適合認証品

このたびは、「i-station 50 シリーズ」をお買い上げいただき、ありがとうございます。

本書には本製品を安全に使用していただく為の重要な情報が記載されています。

本書は、実際に電話機を使っていただく方を対象に書かれています。

本製品を使用する前に本書をよく読み、理解した上で、お使いください。

また、本書は本製品の使用中、いつでも参照できるように大切に保管してください。

富士通は、使用者および周囲の方に人身損害や経済的損害を与えないために細心の注意を払っています。本書にしたがって本製品を使用してください。

FUJITSU

本製品は、一般事務用、パーソナル用、家庭用等の一般的用途を想定して設計・製造されているものであり、原子力施設における核反応制御、航空機自動飛行制御、航空交通管制、大量輸送システムにおける運行制御、生命維持のための医療用機器、兵器システムにおけるミサイル発射制御など、極めて高度な安全性が要求され、仮に当該安全性が確保されない場合、直接生命・身体に対する重大な危険性を伴う用途（以下「ハイセイフティ用途」という）に使用されるよう設計・製造されたものではありません。お客様は、当該ハイセイフティ用途に要する安全性を確保する措置を施すことなく、本製品を使用しないでください。ハイセイフティ用途に使用される場合は、当社の担当営業までご相談ください。

注意

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波障害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

- この電話機システムは日本国内用に設計されています。電圧、電話交換方式の異なる海外ではご利用できません。

This telephone system is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.

- 本製品の故障、誤動作、不具合、あるいは停電等の外部要因によって、通話、録音、通話料金管理、FAX通信、データ通信、その他のサービスの利用ができなかったために生じた損害等の純粋経済損害につきましては、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本製品の設置工事および修理には、工事担任者資格を必要とします。無資格者の工事は違法となり、また事故のもととなりますので絶対におやめください。
- 本製品を分解したり改造したりすることは、絶対に行わないでください。
- 本書の内容につきまして万全を期しておりますが、お気づきの点がございましたら、当社窓口等へお申しつけください。
- 製品の改良のため仕様やデザインの一部を予告なく変更することがありますのでご了承ください。
- 本製品は、IP Pathfinder 専用端末です。IP Pathfinder 以外には接続しないでください。

発行元の許可なく本書の記載内容を複製、転写することを禁止します。

All Rights Reserved, Copyright ©富士通株式会社 2010

● 付属品一覧表

本製品には以下の付属品が添付されています。

付属品が全て入っているか確認してください。

品 名	数量	備 考
安全にお使いいただくために	1 部	
保証書	1 部	
カラーシート	1 枚	
透明パネル	1 枚	

● 本書について

本書には、本製品を安全に使用していただくための重要な情報が記載されています。本製品を使用する前に、本書を熟読してください。特に本書に記載されている「安全上の注意事項」をよく読み、理解された上で本製品を使用してください。また、本書は大切に保管してください。

ここでは主な電話機の使いかたの一部をご説明しております。フリーアサインボタン数、ディスプレイ表示内容等は、機種により異なりますので詳しくはIP Pathfinderに添付されている取扱説明書をご覧ください。

● 警告表示について

本書では、お客様の身体や財産に損害を与えないために、以下の警告表示をしています。

内容をよく理解してから本文をお読みください。

 **危険**

「△危険」とは、正しく使用しない場合、死亡する、または重傷を負うような切迫した危険があることを示しています。

 **警告**

「△警告」とは、正しく使用しない場合、死亡する、または重傷を負うことがあり得ることを示しています。

 **注意**

「△注意」とは、正しく使用しない場合、軽傷、または中程度の傷を負うことがあり得ること、当該製品自身、またはその他の使用者などの財産に、損害が生じる危険性があることを示しています。

●安全上の注意事項

電話機について以下の注意事項をお守りください。

尚、以下の使用条件を厳守しなかった場合、お客様および周囲の方の身体や財産等、また、環境破壊による第三者の身体や財産等に予期しない損害を生じる恐れがあります。



(1) 使用方法について

使用上の注意

- ・ 本電話機に使用するACアダプターは、指定したものを使用してください。指定品以外のものを使用すると、発熱、破裂させる原因となります。
指定 AC アダプター：FC820AC3



(1) 使用方法について

予想される誤った 使い方の注意

- ・ 電話機にお茶やコーヒーなどが入ったり、また濡らさないように、ご注意ください。火災、感電、故障の原因となります。
- ・ 電話機の近くに花瓶、植木鉢、コップ、化粧品、薬品等、水などの入った容器、または小さな金属物を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災、感電、故障の原因となります。
- ・ 電話機には、殺虫剤やヘアースプレー等がかからないようにしてください。火災、感電、故障の原因となります。
- ・ 電話機の開口部から、内部にクリップやホッチキスの針等の異物を差し込んだりしないでください。火災、感電、故障の原因となります。
- ・ 電話機をぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり倒れたりして、けがの原因となります。
- ・ 電子レンジや高压容器に、電話機本体を入れないでください。電話機本体の発熱、発煙、発火や回路部品を破壊させる原因となります。

分解・改造の禁止

- ・ 電話機を分解、改造しないでください。また、中古品をオーバーホールなどによって再生して使用しないでください。火災、感電、故障の原因となります。

接続機器の注意

- ・ 改造された機器をつながないでください。火災、感電、故障の原因となります。

配線ケーブル類の
注意

- ・ LAN ケーブル・AC アダプターを傷つけたり、破損したり、加工したりしないでください。火災、感電、故障の原因となります。
- ・ LAN ケーブル・AC アダプターの上に重いものを乗せないでください。火災、感電、故障の原因となります。
- ・ LAN ケーブル・AC アダプターを熱器具に近づけたり、燃えやすい物を置いたり、加熱させたりしないでください。コードの被覆が溶けて火災、感電、故障の原因となります。
- ・ LAN ケーブル・AC アダプターは折り曲げたり、引っ張ったりしないでください。コードが傷つき、火災、感電、故障の原因となります。

(2) 保守・点検について

点検（保守者）の
制限・禁止

- ・ 内部の点検・修理はお買い上げの販売店に依頼してください。ご自分で行うと、火災、感電、故障の原因となります。
- ・ 万一、煙が出る、変なにおいがした場合には、電話機本体から LAN ケーブル・AC アダプターを抜いて、煙がでなくなるのを確認してお買い上げになった販売店等へご連絡ください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。

△ 注意

(1) 使用方法について

使用環境の注意

- ・ 電話機を直射日光の当たる所に置かないでください。内部の温度が上がリ、火災、感電、故障の原因となることがあります。
- ・ 電話機を極度に温度の高い所、低い所、温度変化の大きい所に置かないでください。故障の原因となることがあります。
- ・ 電話機を浴室等の湿気の高い所に置かないでください。火災、感電、故障の原因となることがあります。
- ・ 電話機を調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気の当たるような場所に置かないでください。火災、感電、故障の原因となることがあります。
- ・ 電話機をホコリの多い所に設置しないでください。火災、感電、故障の原因となることがあります。
- ・ 電話機をジュウタンやカーペットのような静電気の発生しやすい物の上に置かないでください。火災、感電、故障の原因となることがあります。
- ・ 電話機を硫黄ガスや車の排気ガス等、特殊ガスが当たる場所に置かないでください。火災、感電、故障の原因となることがあります。
- ・ 電話機を海風が当たる場所に置かないでください。火災、感電、故障の原因となることがあります。

予想される誤った 使い方の注意

- ・ 電話機の上に物を置いたり、周辺に倒れやすい物を置かないでください。けが、故障の原因となることがあります。
- ・ 電話機を壁掛けにして使うときは、落下にご注意ください。けがの原因となることがあります。
- ・ 電話機を振動、衝撃の多い場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。
- ・ 電話機を通路に置かないでください。けがの原因になることがあります。

(2) 保守・点検について

点検・清掃について

- ・ 電話機に水滴がついたら乾いた布で拭き取ってください。放置すると火災、感電、故障の原因となることがあります。
- ・ 電話機が汚れたら、柔らかい布で乾拭きしてください。ベンジン、シンナー等の有機溶剤は避けてください。電話機が腐食、溶解して火災、感電、故障の原因となることがあります。

(3) 製品の廃棄

製品廃棄時の注意

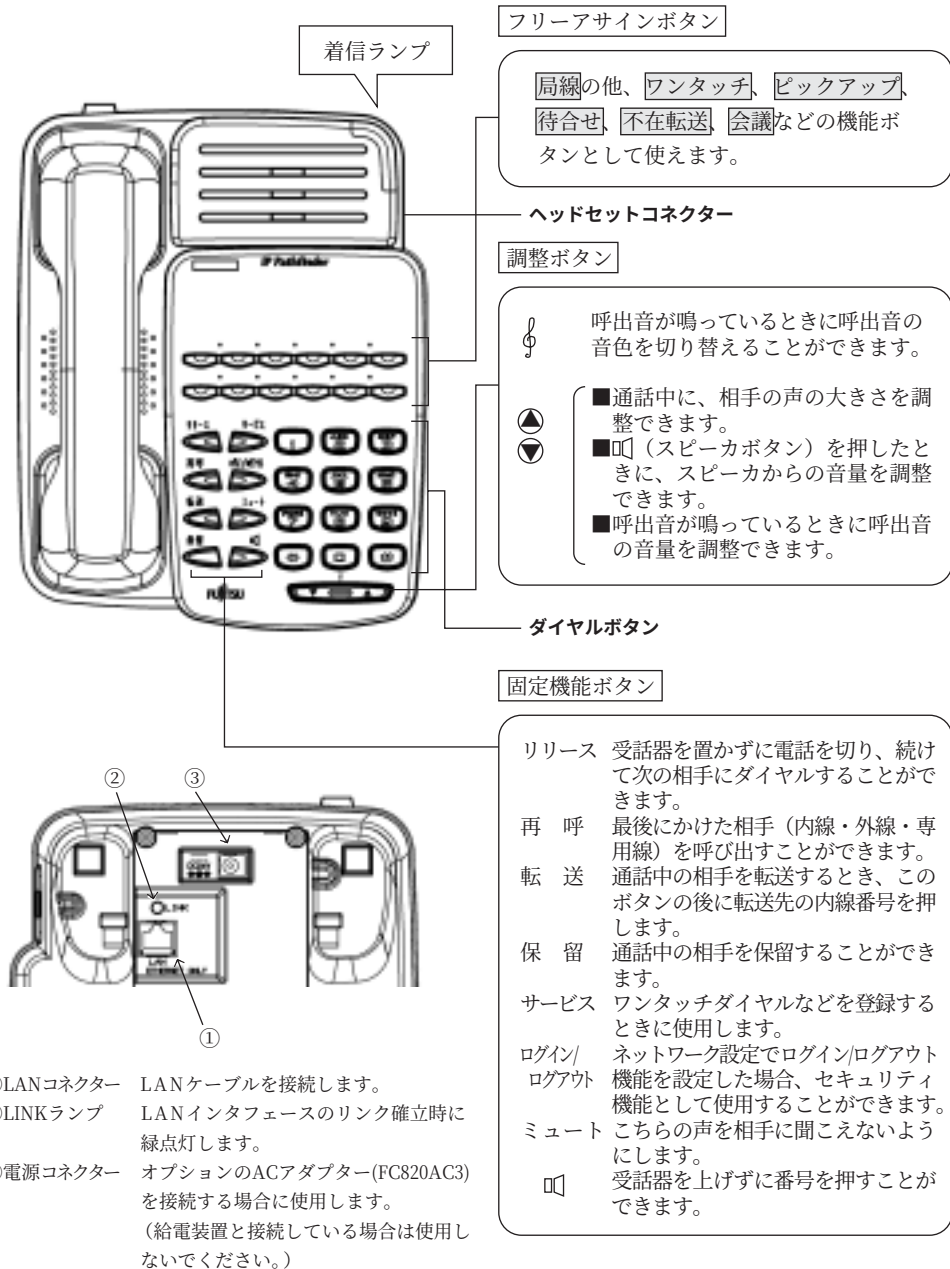
- ・ 法人、企業のお客様が本製品を廃棄・リサイクルされる場合は、「富士通事業系IT製品リサイクルサービス」をご利用ください。詳しくは、下記の Web をご覧ください。
(<http://jp.fujitsu.com/about/csr/eco/products/recycle/recycleindex.html>)
- ・ 本製品は、お客様固有のデータを登録または保持可能な製品です。製品内のデータ流出等の不測の損害等を回避するために、本製品を廃棄（または譲渡、返却）される際には、製品内に登録または保持されたデータを消去する必要があります。詳しくは、お買い求めになった販売店へお申し付けください。

～ 目次 ～

付属品一覧表	3
本書について	3
警告表示について	3
安全上の注意事項	4
 目次	 7
 i-station50A4 の外観図および各ボタンの説明	 9
i-station50B3W/50B3B の外観図および各ボタンの説明	10
 操作のしかた	 11
電話をかける	11
簡単にダイヤルするとき	11
長い電話番号も短い操作で	12
相手が話し中のとき	12
電話に応答します	13
通話中の相手を保留または転送します	13
通話中の操作	14
ワンタッチダイヤルを登録するとき	15
ワンタッチダイヤルを使ってかけるとき	15
短縮ダイヤルを登録するとき	16
短縮ダイヤルを使ってかけるとき	16
i-station50B3W/50B3B の電話帳を利用する	17
電話帳に登録するとき	17
電話帳を検索するとき	20
電話帳から発信するとき	22
電話帳の内容を修正するとき	23
電話帳の内容を削除するとき	24
発信履歴を表示するとき	25
着信履歴を表示するとき	26
i-station50B3W/50B3B のユーザデータ設定を行う	27
1. 自端末保留音の設定を行うとき	27
2. LCD コントラストの設定を行うとき	28
3. バックライトの設定を行うとき	29
4. 着信音量の設定を行うとき	30
5. スピーカ音量の設定を行うとき	31
6. ハンドセット音量の設定を行うとき	32
7. 着信ランプの設定を行うとき	33
8. ハンズフリー(マイクオン/オフ) の設定を行うとき	34
9. 着信音色の設定を行うとき	35

i-station50A4/50B3W/50B3B の NW データ設定を行う	36
i-station50 シリーズのログイン / ログアウト機能を利用する	37
LCD 表示部 チルト機構の操作について	38
文字の入力方法について	39
カラーシートの使い方	40
PB 信号送出機能（シグナルチェンジ）	41
電話機の仕様	42
補修用性能部品の最低保有期間	42

< i-station50A4 の外観図および各ボタンの説明 >



< i-station50B3W/50B3B の外観図および各ボタンの説明 >

ディスプレイ表示

- ・英数カナ表示 20文字×4行
- 漢字表示 10文字×4行

着信ランプ

電話帳/設定ボタン

MENU



ネットワークの各設定、保留音設定などの設定ができます。
電話帳の登録、検索、発信操作ができます。



▲▼は選択肢の選択、漢字の変換に使用します。



◀▶は文字のカーソル移動に使用します。



ディスプレイの4段目に表示した内容を選択する場合に使用します。

フリーアサインボタン

局線の他、ワンタッチ、ピックアップ、待合せ、不在転送、会議などの機能ボタンとして使えます。

調整ボタン



呼出音が鳴っているときに呼出音の音色を切り替えることができます。



■操作をしてない状態で、ディスプレイ表示の輝度を調整できます。

■通話中に、相手の声の大きさを調整できます。

■□(スピーカボタン)を押したときに、スピーカからの音量を調整できます。

■呼出音が鳴っているときに呼出音の音量を調整できます。

固定機能ボタン

リリース 受話器を置かず電話を切り、続けて次の相手にダイヤルすることができます。

再呼 最後にかけた相手(内線・外線・専用線)を呼び出すことができます。

転送 通話中の相手を転送するとき、このボタンの後に転送先の内線番号を押します。

保留 通話中の相手を保留することができます。

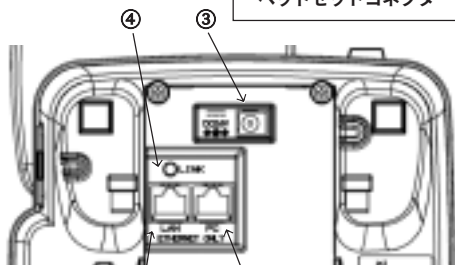
サービス ワンタッチダイヤルなどを登録するときに使用します。

ログイン/ログアウト ネットワーク設定でログイン/ログアウト機能を設定した場合、セキュリティ機能として使用することができます。

ミュート こちらの声を相手に聞こえないようにします。



受話器を上げずに番号を押すことができます。また、相手が出たら受話器を上げずにそのまま会話できます。(ハンズフリー機能)



- ①LANコネクター LANケーブルを接続します。
- ②PCコネクター PCのLANポートに接続します。
- ③電源コネクター オプションのACアダプター(FC820AC3)を接続する場合に使用します。
(給電装置と接続している場合は使用しないでください。)
- ④LINKランプ LANインタフェースのリンク確立時に緑点灯します。

操作のしかた

記号の意味  : 受話器を上げます。

 : 受話器を戻します。

 : ボタンを押します。

5 : 番号を押します。(例：短縮発信特番)

(この番号をサービス特番といいます)

< > : 電話機の状態を表します。

電話をかける

内線へかけるとき (例：2001)

相手番号をダイヤルします。



 <発信音> 2001 <呼出音> <通話中>

簡単にダイヤルするとき

受話器を上げずにかけるとき (例：2001)

スピーカボタンを押してからダイヤルします。



 <発信音> 2001 <呼出音>  <通話中>

外線へかけるとき

(例：外線発信特番0 03-1234-5678)

①外線発信特番と相手番号をダイヤルします。



 <発信音> 0 <局の発信音> 0312345678

<呼出音> <通話中>

②直接発信するとき (局線ボタンがある場合)

局線を押して、相手番号をダイヤルします。

 <発信音> **局線** <局の発信音> 0312345678

<呼出音> <通話中>

もう一度同じ相手にかけるとき

再呼を押すと、最後にかけた相手にかけられます。



 <発信音> **再呼** <呼出音> <通話中>

専用線へかけるとき

(例：専用線番号711 内線3201)

専用線番号と相手番号をダイヤルします。



 <発信音> 711 3201 <呼出音> <通話中>

※固定機能ボタンに無いボタンは、フリーサインボタンへの登録が必要です。登録は、システム管理者へおたずねください。

長い電話番号も短い操作で

短縮ダイヤルを使うとき

①可変短縮ダイヤル

(電話機毎に自由に短縮ダイヤルを登録できます。)
短縮発信特番と短縮番号をダイヤルします。

(例：短縮発信特番5、短縮番号13)



☎ <発信音> 5 13 <呼出音> <通話中>

●登録するときは、この後の“短縮ダイヤルを登録するとき”(P.16)を参照してください。

②固定短縮ダイヤル

(どの電話機からでも使えるシステム共通の短縮番号です)

短縮発信特番と短縮番号をダイヤルします。

(例：短縮発信特番6、短縮番号23)

☎ <発信音> 6 23 <呼出音> <通話中>

●登録・変更は電話機からはできません。

ワンタッチで相手を呼出するとき

ワンタッチを押すだけです。



ワンタッチ <呼出音> <相手応答> ☎ <通話中>

●登録するとき(例：外線発信特番 0 03-1234-5678)

サービス (上下) ワンタッチ 0 0312345678

サービス

相手が話し中のとき

別の内線を呼出するとき

(例：3001が話し中で、3002へ変更)

3001へダイヤルします。



☎ <発信音> 3001 <話中音> 2 <3002の呼出音> <通話中>

相手の通話が終了するまで待つとき

(例：4001が話し中)

①待合せを登録するとき待合せを押します。



☎ <発信音> 4001 <話中音> 待合せ <確認音> ☎

↓相手が空きます。

<呼返し> ☎ <呼出音> <通話中>

②待合せ登録を解除するとき

☎ <発信音> 待合せ <確認音> ☎

※固定機能ボタンに無いボタンは、フリーサインボタンへの登録が必要です。登録は、システム管理者へおたずねください。

電話に応答します

自分の電話機が鳴っているとき
受話器をあげて応答します。



 〈通話中〉

内線と局線のどちらにも着信がある場合には、
受話器をあげる前に**局線**または**内線**を押して
から受話器をあげると、その着信に応答でき
ます。

他の電話が鳴っているとき

(同一ピックアップグループ内のとき)

ピックアップを押して、応答します。



 **ピックアップ** 〈通話中〉

局線表示盤に着信したとき

局線表示盤のランプが点滅(着信表示)したとき
応答を押して、応答します。



〈着信表示〉  **応答** 〈通話中〉

通話中の相手を保留または転送します

遠くの人に転送するとき (例：3001へ転送)

転送を押して、転送先内線番号をダイヤル
します。



〈通話中〉 **転送** 〈発信音〉 3001 〈呼出音〉

〈応答後〉 

近くの人に転送するとき (例：2001から転送)

保留1を押してグループ内の相手に口頭で
グループ保留番号を知らせます。



●転送するとき

〈通話中〉 **保留1** 〈1番を伝える〉 

●保留中の相手と話すとき

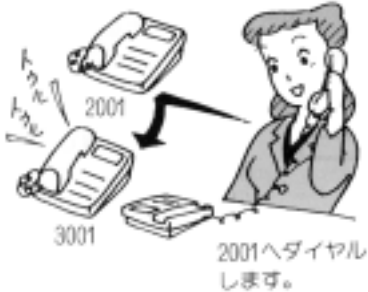
 **保留1** (赤色点滅しているボタン) 〈通話中〉

※固定機能ボタンに無いボタンは、フリーサインボタンへの登録が必要です。登録は、システム管理者へおたずねください。

通話中の操作

他の電話機に自動的に転送させるとき (例：3001へ転送)

席を離れるときなどに、登録しておきます。



●登録するとき

☎ <発信音> 不在転送 3001 <確認音> ☎
(転送先番号)

●解除するとき

☎ <発信音> 不在転送 <確認音> ☎

三人で話すとき (例：2002を参加)

通話中に **会議** 2002 とダイヤルします。
応答があったら、再び **会議** を押します。



<通話中> **会議** 2002 <呼出音>

<三人目の相手と通話中> **会議** <三者通話中>

自己保留するとき

話し中に調べものや探しものをするとき、
保留 を2回押し、受話器をおきます。
保留中に点滅しているボタンを押し受話器を
あげると再び通話ができます。



<通話中> **保留** **保留** ☎ ☎
保留中

内線 <通話中>

通話中の相手に割込むとき

(例：2001へ割込み)

話中呼 を押して、相手に知らせます。



☎ <発信音> 2001 <話中音> **話中呼**

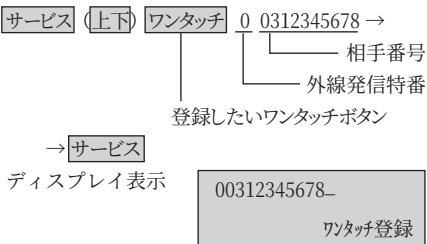
<相手へ割込音送出中> <通話中>

※固定機能ボタンに無いボタンは、フリーサインボタンへの登録が必要です。登録は、システム管理者へおたずねください。

ワンタッチダイヤルを登録するとき

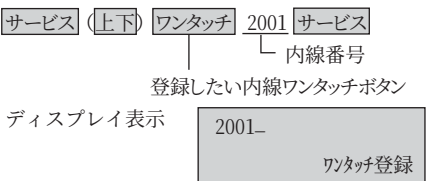
ボタンごとに、外線の相手番号や特番、内線番号、短縮番号を登録できます。ワンタッチで発信できるので便利です。

(1) 外線の相手番号、または特番の登録

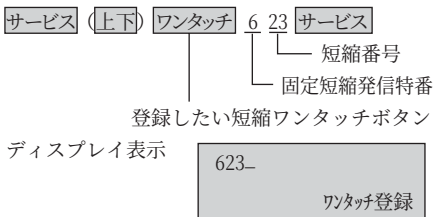


●ワンタッチボタン1個に2つの相手番号を登録できます。(切替えは、上下で行います。)

(2) 内線番号の登録

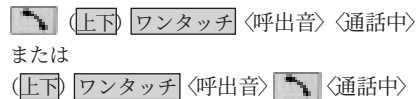


(3) 短縮番号の登録



※ i-station50A4には上下ボタンはありません。ワンタッチでダイヤルを登録する場合には、上記説明で上下ボタン操作を抜いてください。

ワンタッチダイヤルを使ってかけるとき



※ i-station50A4には上下ボタンはありません。ワンタッチダイヤルを使って発信する場合には、上記説明で上下ボタン操作を抜いてください。

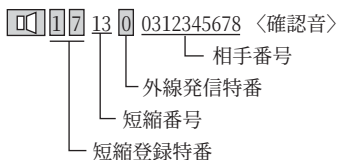
※固定機能ボタンに無いボタンは、フリーアサインボタンへの登録が必要です。登録は、システム管理者へおたずねください。

短縮ダイヤルを登録するとき



- (1) 可変短縮番号の登録
(グループごと、あるいは電話機ごとに登録できます)

- ・短縮番号「13」に03-1234-5678を登録するとき



ディスプレイ表示

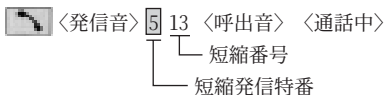
171300312345678
完了

- (2) 固定短縮番号の登録は電話機ごとにはできません。
変更や新しく登録するときは、システム管理者の方にお知らせください。

短縮ダイヤルを使ってかけるとき

- (1) 可変短縮ダイヤル
(グループごと、あるいは電話機ごとに使える短縮番号です)

- ・短縮番号「13」に03-1234-5678が登録されているとき

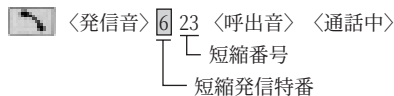


ディスプレイ表示

00312345678
10円 00:00:05

- (2) 固定短縮ダイヤル
(どの電話機からでも使えるシステム共通の短縮番号です)

- ・短縮番号「23」に03-1234-5678が登録されているとき



ディスプレイ表示

00312345678
10円 00:00:05

※固定機能ボタンに無いボタンは、フリーアサインボタンへの登録が必要です。登録は、システム管理者へおたずねください。

i-station50B3W/50B3Bの電話帳を利用する

よく利用する電話番号を名前とともに最大500件（1,000電話番号）登録できます。1人につき、電話番号を2件登録できます。以下の設定もできます。

- グループに分けて登録できます。
グループの名前は変更できます。

電話帳に登録するとき

1. メモリ登録の場合

- (1)  ボタンを押下して、「メモリ登録」を選択する。



ボタンの▲／▼で「メモリ登録」を選択し、「確定」ボタンを押下します。

フリガナ検索	
グループ検索	
メモリ登録	
戻る	確定

- (2) 名前を入力する。（名前入力画面）

- 漢字、カタカナ、英字、数字を入力できます。
名前は全角で最大10文字、半角で最大20文字入力できます。

「富士通太郎」と入力する。

まず初めに、

- ①「富士通」を入力する。

「ふ」⇒ダイヤルボタン  を3回押します。

「し」⇒ダイヤルボタン  を2回押します。

「ト」⇒ダイヤルボタン  を4回押します。

「つ」⇒ダイヤルボタン  を3回押します。

「う」⇒ダイヤルボタン  を3回押します。

名前：	漢
ふじつう	
戻る	消去 文字 確定

名前：	漢
富士通	
戻る	消去 文字 確定

名前：	漢
富士通	
戻る	消去 文字 確定

- ②「太郎」を入力する。

「た」⇒ダイヤルボタン  を1回押します。

「ろ」⇒ダイヤルボタン  を5回押します。

「う」⇒ダイヤルボタン  を3回押します。

名前：	漢
富士通	
たろう	
戻る	消去 文字 確定

「たろう」まで入力できたら、 ボタンの▲／▼で文字変換を行います。該当する文字が表示されたら「確定」ボタンを押下します。更に「確定」ボタンを押下するとフリガナ入力画面に移ります。

名前：	漢
富士通	
太郎	
戻る	消去 文字 確定

- 入力するダイヤルボタンを押し間違えたときは、「消去」ボタンを押下すると1文字削除します。

名前：	漢
富士通太郎	
戻る	消去 文字 確定

(3) フリガナを入力する。

- 前ページ(2)名前入力で入力したカナが自動的に反映し表示されます。
内容を変更する場合には、ダイヤルボタンを使用して修正します。

フリガナ：	か	
フジツバ知		
戻る	消去	確定

- 修正が無い場合には、「確定」ボタンを押下します。
電話番号1入力画面に移ります。

(4) 電話番号1を入力する。

- 電話番号は、半角30桁まで入力できます。
- 外線番号(例えば、03-1234-5678)を登録する場合には、
外線を捕捉する番号、例えば“0”を登録する番号の頭につけて入力
します。
入力例：00312345678

TEL1：	数	
00312345678		
戻る	消去	確定

- 電話番号1を入力しないで「確定」ボタンを押下すると電話番号2の
画面へ移ります。
- 電話番号1の入力が終わったら、「確定」ボタンを押下します。
電話番号2入力画面に移ります。

(5) 電話番号2を入力する。

- 電話番号は、半角30桁まで入力できます。
入力方法については、上記(4)と同じです。
- 電話番号2の場合は、電話番号を入力しなくても「確定」ボタンを押
下すると次の設定画面(グループ)に移ります。

TEL2：	数	
00312340000		
戻る	消去	確定

※電話番号1，2どちらにも電話番号を入力していない場合は次の設
定画面(グループ)へ移りません。

(6) グループを選択する。

- グループは最大10グループまで登録できます。
グループ名については、グループなし、グループ1～グループ9が
入っています。
- グループの検索は、 ボタンの▲／▼で選択します。
登録したいグループを選択し、「登録」ボタンを押下します。

グループ：	
グループなし	
グループ1	
戻る	登録

これで1件の電話帳の登録作業が完了となります。画面上に「登録し
ました 残り件数はxxx件です」が表示され、メニュー画面へ移り
ます。

登録しました 残り件数はxxx件 です

2. グループ登録の場合

(1)  ボタンを押下して、「グループ登録」を選択する。



ボタンの▲／▼で「グループ登録」を選択し、「確定」ボタンを押下します。

- グループの登録は9件です。（1～9：グループ名登録可）
初期グループ名は、「グループ1」～「グループ9」となっています。
- グループ名は、全角最大10文字、半角最大20文字です。

グループ検索
メモリ登録
グループ登録
戻る 確定

グループ：
グループ1
グループ2
戻る 確定

(2) グループ名を登録する。

ここでは「グループ1」のグループ名を「会社」と登録します。

①「グループ1」を選択し「確定」ボタンを押下します。
「グループ1」の画面が表示されます。

グループ： 漢
グループ1
戻る 消去 文字 確定

- ②「グループ1」を消去し、「会社」と入力します。
- 「か」⇒ダイヤルボタン  を1回押します。
- 「い」⇒ダイヤルボタン  を2回押します。
- 「し」⇒ダイヤルボタン  を2回押します。
- 「ゃ」⇒ダイヤルボタン  を4回押します。

グループ： 漢
かいしゃ
戻る 消去 文字 確定

※文字を消去する場合、「消去」ボタンを一度押下すると1文字消去できます。

③  ボタンの▲／▼で文字変換を行います。該当する文字が表示されたら「確定」ボタンを押下します。

グループ： 漢
会社
戻る 消去 文字 確定

④「グループ1」のグループ名が「会社」に確定されたことを確認し、もう一度「確定」ボタンを押下します。
画面上に「グループ：会社 を登録しました」が表示され、メニュー画面へ移ります。

グループ： 漢
会社
戻る 消去 文字 確定

グループ：
会社
を登録しました

電話帳を検索するとき

電話帳を検索する場合は、

1. 50音検索
2. フリガナ検索
3. グループ検索

の3つの検索手段があります。それぞれの検索方法について以下に示します。

■ “ア”、“カ”、“サ”、“タ”、“ナ”、“ハ”、“マ”、“ヤ”、“ラ”、“ワ” ボタン押下により、指定された箇所の行から順番に表示されます。

■ 上記ボタン押下により指定行が無かった場合は、その後の一番近い行から表示されます。

■  ボタンの▲／▼押下により、50音順に前後行の名前が表示されます。

■  ボタン押下により、強制的にカレンダー表示に戻ります。

1. 50音検索の場合

(1)  ボタンを押下して、「50音検索」を選択します。

 ボタンの▲／▼で「50音検索」を選択し、「確定」ボタンを押下します。

メモリ登録	
グループ登録	
50音検索	
戻る	確定

(2) 検索したい名前の行（該当するダイヤルボタン）を押下します。

例として「斉藤一郎」を検索します。

ダイヤルボタン  を1回押します。

「サ」から始まる名前の行が表示されます。画面上に表示されない場合には  ボタンの▲／▼で検索します。

阿部一郎			
阿部二郎			
伊藤三郎			
戻る	消去	内容	発信

斉藤一郎			
清水一郎			
鈴木一郎			
戻る	消去	内容	発信

(3) 検索した内容を確認したい場合には、「内容」ボタンを押下します。

 ボタンの▲／▼で表示されていない内容を確認することができます。

名前：斉藤一郎		
フリガナ：サトウイチロウ		
TEL1：00441234567		
戻る	編集	発信

▼：名前⇒フリガナ⇒TEL1⇒TEL2⇒グループ⇒名前⇒…

▲：名前⇒グループ⇒TEL2⇒TEL1⇒フリガナ⇒名前⇒…

2. フリガナ検索の場合

- (1)  ボタンを押下して、「フリガナ検索」を選択します。

 ボタンの▲／▼で「フリガナ検索」を選択し、「確定」ボタンを押下します。

- (2) 検索したい文字から始まるフリガナが登録されている電話帳が表示されます。

例として「富士太郎」を検索します。

ダイヤルボタン  6 を3回押します。

ダイヤルボタン  3 を2回押します。

ダイヤルボタン  0 を4回押します。

「フジ」まで入力して「検索」ボタンを押下すると該当する名前が先頭に表示されます。

該当の名前がなかった場合は、その後の一番近い名前から表示されます。画面上に表示されてない場合には、 ボタンの▲／▼で検索します。

フリガナ検索	
グループ検索	
メモリ登録	
戻る	確定

フリガナ：	か
フジ	—
戻る	消去
	検索

富士太郎	
富士花子	
富士花実	
戻る	消去
	内容
	発信

3. グループ検索の場合

- (1)  ボタンを押下して、「グループ検索」を選択します。

 ボタンの▲／▼で「グループ検索」を選択し、「確定」ボタンを押下します。

- (2) グループが表示されるので、確認したいグループを  ボタンの▲／▼で検索し、「検索」ボタンを押下します。

例として「会社」を検索します。

グループとして「会社」を選択している名前が表示されます。

画面上に表示されてない場合には、 ボタンの▲／▼で検索します。

フリガナ検索	
グループ検索	
メモリ登録	
戻る	確定

グループなし	
会社	
友達	
戻る	検索

齊藤一郎	
富士通太郎	
富士通花子	
戻る	消去
	内容
	発信

電話帳から発信するとき

電話帳を使用して発信する場合には、「電話帳を検索するとき」（P20～）と同じ操作を行い、発信する名前を選択して「発信」ボタンを押下すると発信します。

例として、50音検索から発信する場合を以下に示します。

- (1)  ボタンを押下して、「50音検索」を選択します。

 ボタンの▲／▼で「50音検索」を選択し、「確定」ボタンを押下します。

メモリ登録
グループ登録
50音検索
戻る
確定

- (2) 検索したい名前の行（該当するダイヤルボタン）を押下します。

例として「斉藤一郎」を検索します。

ダイヤルボタン  を1回押します。

「サ」から始まる名前の行が表示されます。画面上に表示されない場合には  ボタンの▲／▼で検索します。

阿部一郎
阿部二郎
伊藤三郎
戻る
消去
内容
発信

「斉藤一郎」を選択している状態で「発信」ボタンを押下または受話器を上げると「斉藤一郎」へ発信します。

斉藤一郎
清水一郎
鈴木一郎
戻る
消去
内容
発信

※このとき発信はTEL1に登録している番号を優先して発信します。
TEL2に登録している番号を発信したい場合には一度登録している内容を確認し、TEL2を選択して「発信」ボタンを押下するとTEL2の番号で発信します。

00312345678
呼出中

■登録内容を確認してから発信する場合

- ① 「斉藤一郎」の内容を確認する。

「斉藤一郎」を選択している状態で「内容」ボタンを押下します。

名前： 斉藤一郎
フリガナ： サイトウイチロウ
TEL1： 00312345678
戻る
編集
発信

- ② 電話番号の内容を確認する。

 ボタンの▲／▼で内容を確認します。

フリガナ： サイトウイチロウ
TEL1： 00312345678
TEL2： 00312340000
戻る
編集
発信

- ③ 発信したい番号（TEL1かTEL2）を選択し、「発信」ボタンを押下します。

「斉藤一郎」へ発信します。

00312340000
呼出中

電話帳の内容を修正するとき

電話帳の内容を修正する場合には、「電話帳を検索するとき」(P20～)と同じ操作を行い、修正したい名前を選択して「編集」ボタンを押下すると修正できる画面になります。

例として、50音検索から検索して修正する場合を以下に示します。

- (1)  ボタンを押下して、「50音検索」を選択します。

 ボタンの▲/▼で「50音検索」を選択し、「確定」ボタンを押下します。

メモリ登録
グループ登録
50音検索
戻る
確定

- (2) 検索したい名前の行(該当するダイヤルボタン)を押下します。

例として「斉藤一郎」を検索します。

ダイヤルボタン  を1回押します。

「サ」から始まる名前の行が表示されます。画面上に表示されない場合には  ボタンの▲/▼で検索します。

阿部一郎
阿部二郎
伊藤三郎
戻る 消去 内容 発信

斉藤一郎
清水一郎
鈴木一郎
戻る 消去 内容 発信

- (3) 「斉藤一郎」を選択し、「内容」ボタンを押下します。

「斉藤一郎」の内容が確認できます。

例としてTEL1の電話番号を編集します。

名前：斉藤一郎
フリガナ：サイトウイチロウ
TEL1：00312345678
戻る 編集 発信

- (4) TEL1を  ボタンの▲/▼で選択し、「編集」ボタンを押下します。TEL1の編集画面が表示されます。現在設定してあるTEL1の電話番号を「消去」ボタンで削除してから新しい電話番号を入力します。

TEL1：	数
00312340000	
戻る 消去	確定

新しい電話番号が入力できたら「確定」ボタンを押下します。

- (5) 再度登録内容を  ボタンの▲/▼で確認し、内容が間違っていないければ「登録」ボタンを押下します。

名前：斉藤一郎
フリガナ：サイトウイチロウ
TEL1：00312340000
戻る 編集 登録

「登録内容を 変更しました」が表示され、メニュー表示に戻ります。

登録内容を 変更しました

電話帳の内容を削除するとき

電話帳の内容を削除する場合には、「電話帳を検索するとき」(P20～)と同じ操作を行い、削除したい名前を選択して「消去」ボタンを押下すると消去する画面になります。

例として、50音検索から検索して削除する場合を以下に示します。

- (1)  ボタンを押下して、「50音検索」を選択します。

 ボタンの▲/▼で「50音検索」を選択し、「確定」ボタンを押下します。

メモリ登録
グループ登録
50音検索
戻る
確定

- (2) 検索したい名前の行(該当するダイヤルボタン)を押下します。

例として「斉藤一郎」を検索します。

ダイヤルボタン  を1回押します。

「サ」から始まる名前の行が表示されます。画面上に表示されない場合には  ボタンの▲/▼で検索します。

阿部一郎
阿部二郎
伊藤三郎
戻る 消去 内容 発信

斉藤一郎
清水一郎
鈴木一郎
戻る 消去 内容 発信

- (3) 「斉藤一郎」を削除します。

「斉藤一郎」を  ボタンの▲/▼で選択し、「消去」ボタンを押下します。

「斉藤一郎」のみを削除する場合は、「1件」を押下します。

電話帳全件を削除する場合は、「全件」を押下します。

消去しますか?
戻る 1件 全件

「斉藤一郎」を削除する場合

斉藤一郎
消去しますか?
はい いいえ

全件削除する場合

全件
消去しますか?
はい いいえ

消去しました

「消去しました」と表示され、メニュー表示へ戻ります。

発信履歴を表示するとき

発信履歴の内容を表示する場合には、以下の方法で確認することができます。
発信履歴情報は、20件まで表示されます。発信履歴情報が20件以上になると古い情報から削除されます。
発信履歴情報が無い場合には、「履歴データがありません」と表示されます。

- (1) カレンダー表示の状態で、「履歴」ボタンを押下します。

●発:01の情報が表示されます。

●発:01を表示中に  ボタンの▲／▼を押下すると、次の発信履歴情報を見ることができます。

11:59 PM 12月31日[月]

[履歴](#) [着歴](#)

発:01:04/18 02:20PM
富士通太郎
00312345678

[戻る](#) [消去](#) [登録](#) [発信](#)

発:02:04/17 08:00PM
富士通花子
00312349000

[戻る](#) [消去](#) [登録](#) [発信](#)

- (2) 発信履歴情報を用いて発信する場合には、「発信」ボタン押下にて相手先へ発信することができます。

例として、「富士通太郎」へ発信します。

00312345678
呼出中

- (3) 発信履歴情報を削除する場合には、「消去」ボタンを押下すると「1件」もしくは「全件」を選択することができます。

「1件」を選択した場合には、1件分を消去するメッセージが表示されます。

「全件」を選択した場合には、全件を消去するメッセージが表示されます。

消去しますか？

[戻る](#) [1件](#) [全件](#)

1件消去しますか？

[はい](#) [いいえ](#)

1件分を消去した場合には、消去する履歴情報より古い履歴情報がある時は、1件古い履歴情報を表示し、古い履歴情報がない時は、1件新しい履歴情報を表示します。

発:01:04/17 08:00PM
富士通花子
00312349000

[戻る](#) [消去](#) [登録](#) [発信](#)

- (4) 発信履歴情報から電話帳に登録する場合には、「登録」ボタンを押下します。

電話帳に登録するときと同じ操作方法で登録することができます。

名前： 漢
富士通次郎

[戻る](#) [消去](#) [文字](#) [確定](#)

着信履歴を表示するとき

着信履歴の内容を表示する場合には、以下の方法で確認することができます。

着信履歴情報は、20件まで表示されます。着信履歴情報が20件以上になると古い情報から削除されます。

着信履歴情報が無い場合には、「履歴データがありません」と表示されます。

- (1) カレンダー表示の状態で、「着歴」ボタンを押下します。

●着:01の情報が表示されます。

●着:01を表示中に  ボタンの▲／▼を押下すると、次の着信履歴情報を見ることができます。

●着信履歴情報として、応答／不応答（不在着信）により表示が異なります。

- ・ 応答した場合は、“着”の表示が“”となります。
- ・ 不応答（不在着信）の場合は、“着”の表示が“着”のままになります。

- (2) 着信履歴情報を用いて発信する場合には、「発信」ボタン押下にて相手先へ発信することができます。

例として、「富士通太郎」へ発信します。

- (3) 着信履歴情報を削除する場合には、「消去」ボタンを押下すると「1件」もしくは「全件」を選択することができます。

「1件」を選択した場合には、1件分を消去するメッセージが表示されます。

「全件」を選択した場合には、全件を消去するメッセージが表示されます。

1件分を消去した場合には、消去する履歴情報より古い履歴情報がある時は、1件古い履歴情報を表示し、古い履歴情報がない時は、1件新しい履歴情報を表示します。

- (4) 着信履歴情報から電話帳に登録する場合には、「登録」ボタンを押下します。

電話帳に登録するときと同じ操作方法で登録することができます。

11:59 PM 12月31日[月]

発歴 着歴

着:01:04/18 03:20PM
富士通太郎
00312345678

戻る 消去 登録 発信

(不応答時の着信履歴表示)

 02:04/17 08:00PM
富士通花子
00312349000

戻る 消去 登録 発信

(着信応答時の着信履歴表示)

00312345678
呼出中

消去しますか？

戻る 1件 全件

1件消去しますか？

はい いいえ

着:01:04/17 08:00PM
富士通花子
00312349000

戻る 消去 登録 発信

名前： 漢
富士通次郎

戻る 消去 文字 確定

i-station 50B3W／ 50B3Bのユーザデータ設定を行う

電話機の「MENU」ボタンからユーザデータ設定を行うことができます。ユーザデータ設定は、以下の項目が設定できます。

- 1. 自端末保留音設定
- 2. LCDコントラスト設定
- 3. バックライト設定
- 4. 着信音量設定
- 5. スピーカ音量設定
- 6. ハンドセット音量設定
- 7. 着信ランプ設定
- 8. ハンズフリー設定
- 9. 着信音色設定

1. 自端末保留音の設定を行うとき

- 1. 「MENU」ボタンを押下します。
- 2. 設定メニューの画面が表示されたら  ボタンの▲／▼を押下して、ユーザデータ設定を選択し「確定」ボタンを押下します。

設定メニュー

1. ユーザデータ設定

2. NWデータ設定

確定

- 3. ユーザデータ設定メニューの画面が表示されたら  ボタンの▲／▼で「自端末保留音設定」を選択して「確定」ボタンを押下します。

ユーザデータ設定

1. 自端末保留音設定

2. LCDコントラスト設定

戻る

確定

- 4. 自端末保留音設定画面が表示されたら  ボタンの▲／▼で保留音を選択して「確定」ボタンを押下します。

自端末保留音設定

ノクターン第2番

胡桃割り人形

戻る

確定

ユーザデータ設定画面に戻ります。

※保留音設定中に着信すると、着信ランプと内線ランプは点滅しますが、着信音は鳴りません。

自端末保留音設定の種類を以下に示します。

1.	ノクターン第2番
2.	胡桃割り人形
3.	愛の夢
4.	トッカータとフーガ
5.	禿山の一夜
6.	ボレロ
7.	花のワルツ
8.	モルダウ
9.	ラプソディー・イン・ブルー
10.	ウィリアム・テル序曲
11.	カノン
12.	無音

2. LCDコントラストの設定を行うとき

1. 「MENU」ボタンを押下します。

2. 設定メニューの画面が表示されたら  ボタンの▲／▼を押下して、ユーザーデータ設定を選択し「確定」ボタンを押下します。

設定メニュー

1. ユーザーデータ設定
2. NWデータ設定

確定

3. ユーザーデータ設定メニューの画面が表示されたら  ボタンの▲／▼で「LCDコントラスト設定」を選択して「確定」ボタンを押下します。

ユーザーデータ設定

1. 自端末保留音設定
2. LCDコントラスト設定

戻る

確定

4. LCDコントラスト設定画面が表示されたら  ボタンの▲／▼でLCDのコントラストを調整します。(初期値:5、範囲:1(薄)～8(濃))
「確定」ボタンを押下すると、ユーザーデータ設定画面に戻ります。

LCDコントラスト設定

■■■■■■■

LCDコントラスト: 5

戻る

確定

3. バックライトの設定を行うとき

1. 「MENU」ボタンを押下します。
2. 設定メニューの画面が表示されたら  ボタンの▲／▼を押下して、ユーザーデータ設定を選択し「確定」ボタンを押下します。
3. ユーザーデータ設定メニューの画面が表示されたら  ボタンの▲／▼で「バックライト設定」を選択して「確定」ボタンを押下します。
4. バックライト設定画面が表示されたら  ボタンの▲／▼で「ON」か「OFF」を選択して「確定」ボタンを押下します。
(初期値：バックライトON)
ユーザーデータ設定画面に戻ります。

設定メニュー

1. ユーザーデータ設定
2. NWデータ設定

確定

ユーザーデータ設定

2. LCDコントラスト設定
3. バックライト設定

戻る

確定

バックライト設定

1. ON
2. OFF

戻る

確定

4. 着信音量の設定を行うとき

1. 「MENU」ボタンを押下します。

2. 設定メニューの画面が表示されたら  ボタンの▲／▼を押下して、ユーザーデータ設定を選択し「確定」ボタンを押下します。

設定メニュー

- 1. ユーザーデータ設定
- 2. NWデータ設定

確定

3. ユーザーデータ設定メニューの画面が表示されたら  ボタンの▲／▼で「着信音量設定」を選択して「確定」ボタンを押下します。

ユーザーデータ設定

- 3. バックライト設定
- 4. 着信音量設定

戻る

確定

4. 着信音量設定画面が表示されたら  ボタンの▲／▼で着信音量を調整します。（初期値：3、範囲：1（小）～4（大））
「確定」ボタンを押下すると、ユーザーデータ設定画面に戻ります。

着信音量設定

■■■

着信音量：3

戻る

確定

5. スピーカ音量の設定を行うとき

1. 「MENU」ボタンを押下します。
2. 設定メニューの画面が表示されたら  ボタンの▲／▼を押下して、ユーザーデータ設定を選択し「確定」ボタンを押下します。
3. ユーザーデータ設定メニューの画面が表示されたら  ボタンの▲／▼で「スピーカ音量設定」を選択して「確定」ボタンを押下します。
4. スピーカ音量設定画面が表示されたら  ボタンの▲／▼でスピーカの音量を調整します。（初期値：4、範囲：1（小）～8（大））
「確定」ボタンを押下すると、ユーザーデータ設定画面に戻ります。

設定メニュー

1. ユーザーデータ設定
2. NWデータ設定

確定

ユーザーデータ設定

4. 着信音量設定
5. スピーカ音量設定

戻る

確定

スピーカ音量設定

■■■■■

スピーカ音量：4

戻る

確定

6. ハンドセット音量の設定を行うとき

1. 「MENU」ボタンを押下します。
2. 設定メニューの画面が表示されたら  ボタンの▲／▼を押下して、ユーザーデータ設定を選択し「確定」ボタンを押下します。
3. ユーザーデータ設定メニューの画面が表示されたら  ボタンの▲／▼で「ハンドセット音量設定」を選択して「確定」ボタンを押下します。
4. ハンドセット音量設定画面が表示されたら  ボタンの▲／▼でハンドセットの音量を調整します。(初期値:3、範囲:1(小)～6(大))
「確定」ボタンを押下すると、ユーザーデータ設定画面に戻ります。

設定メニュー
1. ユーザーデータ設定
2. NWデータ設定
確定

ユーザーデータ設定
5. スピーカ音量設定
6. ハンドセット音量設定
戻る 確定

ハンドセット音量設定
■■■
ハンドセット音量: 3
戻る 確定

7. 着信ランプの設定を行うとき

1. 「MENU」ボタンを押下します。

2. 設定メニューの画面が表示されたら  ボタンの▲／▼を押下して、ユーザーデータ設定を選択し「確定」ボタンを押下します。

設定メニュー

- 1. ユーザーデータ設定
- 2. NWデータ設定

確定

3. ユーザーデータ設定メニューの画面が表示されたら  ボタンの▲／▼で「着信ランプ設定」を選択して「確定」ボタンを押下します。

ユーザーデータ設定

- 6. ハンドセット音量設定
- 7. 着信ランプ設定

戻る

確定

4. 着信ランプ設定画面が表示されたら  ボタンの▲／▼で [1.赤 2.青 3.緑 4.黄 5.シアン 6.マゼンダ 7.全色] の中から1つ選択して「確定」ボタンを押下します。(初期値:赤)
「確定」ボタンを押下すると、ユーザーデータ設定画面に戻ります。

着信ランプ設定

- 1. 赤
- 2. 青

戻る

確定

8. ハンズフリー（マイクオン/オフ）の設定を行うとき

1. 「MENU」ボタンを押下します。

2. 設定メニューの画面が表示されたら  ボタンの▲／▼を押下して、ユーザーデータ設定を選択し「確定」ボタンを押下します。

設定メニュー

1. ユーザーデータ設定

2. NWデータ設定

確定

3. ユーザーデータ設定メニューの画面が表示されたら  ボタンの▲／▼で「ハンズフリー設定」を選択して「確定」ボタンを押下します。

ユーザーデータ設定

7. 着信ラフ設定

8. ハンズフリー設定

戻る

確定

4. ハンズフリー設定画面が表示されたら  ボタンの▲／▼で「マイクON」か「マイクOFF」を選択して「確定」ボタンを押下します。
(初期値：マイクOFF)
ユーザーデータ設定画面に戻ります。

ハンズフリー設定

1. マイクON

2. マイクOFF

戻る

確定

9. 着信音色の設定を行うとき

1. 「MENU」 ボタンを押下します。

2. 設定メニューの画面が表示されたら  ボタンの▲／▼を押下して、
ユーザデータ設定を選択し「確定」ボタンを押下します。

設定メニュー

1. ユーザデータ設定
2. NWデータ設定

確定

3. ユーザデータ設定メニューの画面が表示されたら  ボタンの▲／▼
で「着信音色設定」を選択して「確定」ボタンを押下します。

ユーザデータ設定

8. ハズフリー設定
9. 着信音色設定

戻る

確定

4. 着信音色設定画面が表示されたら  ボタンの▲／▼で「内線着信音」か「外線着信音」を選択して「確定」ボタンを押下します。

着信音色設定

1. 内線着信音
2. 外線着信音

戻る

確定

5. 「内線着信音」を選択した場合
内線着信音色設定画面が表示されたら  ボタンの▲／▼で「リング」か「メロディ」を選択して「確定」ボタンを押下します。

内線着信音色設定

1. リング
2. メロディ

戻る

確定

6. 「リング」を選択した場合は、 ボタンの▲／▼で「リング着信音」を選択して「確定」ボタンを押下します。
ユーザデータ設定画面に戻ります。

内線着信音色設定

- リング着信音1
- リング着信音2

戻る

確定

7. 「メロディ」を選択した場合は、 ボタンの▲／▼で「メロディ着信音」を選択して「確定」ボタンを押下します。
ユーザデータ設定画面に戻ります。

内線着信音色設定

- メロディ第2番
- 胡桃割り人形

戻る

確定

8. 「外線着信音」を選択した場合
5. ～7. の手順と同じ作業を行います。

※着信音色設定中に着信すると、着信ランプと内線ランプは点滅しますが、着信音は鳴りません。

着信音色設定の種類を以下に示します。

○リング着信音

1.	リング着信音1
2.	リング着信音2
3.	リング着信音3
4.	リング着信音4
5.	リング着信音5
6.	リング着信音6
7.	リング着信音7
8.	リング着信音8

○メロディ着信音

1.	ノクターン第2番
2.	胡桃割り人形
3.	愛の夢
4.	トッカータとフーガ
5.	禿山の一夜
6.	ボレロ
7.	花のワルツ
8.	モルダウ
9.	ラプソディー・イン・ブルー
10.	ウィリアム・テル序曲
11.	カノン

i-station 50A4／50B3W／50B3BのNWデータ設定を行う

NWデータ設定では、以下の項目が設定できます。設定方法についてはシステム管理者または当社のサービス取扱所までご連絡ください。

1. オートセットアップ
 - ・DHCPサーバ設定
 - ・IPMIPアドレス自動取得
 - ・ログイン／ログアウト機能
2. IPアドレス登録
3. サブネットマスク設定
4. IPM-P IPアドレス登録
5. IPM-S IPアドレス登録
6. IPMバックアップ1～8の登録
7. デフォルトゲートウェイ設定
8. VLAN設定
 - ・VLAN ID登録
 - ・VLANプライオリティ設定
9. クラスID設定
 - ・MACアドレス登録
 - ・任意ID登録
10. LANSPEED/MODE設定
 - ・AutoNegoFlow Off
 - ・AutoNegoFlow On
 - ・10M Half Duplex
 - ・100M Half Duplex
 - ・100M Full Duplex
11. ターミナルエイリアス設定
12. NWパスワード登録

i-station 50シリーズのログイン／ログアウト機能を利用する

ログイン／ログアウト機能を使用する場合には、NWデータ設定－オートセットアップ画面にてログインの設定を「手動」に設定します。NW設定メニューまで画面が戻ったら本電話機を再起動してください。
本機能を使用する場合にはシステム管理者または当社のサービス取扱所までご連絡ください。

1. ログイン「手動」設定後、本電話機を再起動すると右記画面が表示されます。

●「ログイン／ログアウト」ボタン：赤点滅状態

2. 「ログイン／ログアウト」ボタンを押下し、ユーザIDを入力し「決定」ボタンを押下します。

●「ログイン／ログアウト」ボタンを押下すると、遅い赤点滅状態。

●ユーザIDの入力を間違えると、エラーとして速い赤点滅状態。

再度、「ログイン／ログアウト」ボタンを押下すると、遅い赤点滅状態となりユーザIDの入力ができます。

●ユーザIDの入力が正しい場合は、カレンダーが表示されます。

ユーザID：2～16桁の数字入力可能

数：数字の入力

文字入力については、「文字の入力方法について」（P.39）を参照してください。

3. 本電話機からログアウトしたい場合には、ログイン／ログアウトボタンを押下してください。ログイン／ログアウトボタンは赤点滅状態となります。

※赤点滅：0.5 秒間隔の点滅

遅い赤点滅：1 秒間隔の点滅

速い赤点滅：0.125 秒間隔の点滅

ユーザID入力

数

消去

決定

ユーザID入力

数

1234

消去

決定

11:59 AM 12月31日〔月〕

発歴

着歴

LCD表示部 チルト機構の操作について

LCD表示内容が見づらい場合にLCD表示部を立ててご使用になると見やすくなります。

以下にLCD表示部の操作方法について記載します。

※LCD表示部の可動は1段階のみとなります。

【LCD表示部を立てる場合】

- ① 手のひらの下部をLCD表示部の下部に置きます。
- ② 手のひらの下部を軸として、LCD表示部上部を手前に引くように可動させます。

注意) 上記と異なる方法でLCD表示部を可動させると、上手く可動しない場合があります。
ご注意願います。

①



②



【LCD表示部を寝かせる場合】

- ① 手のひらの下部をLCD表示部の下部に置きます。
- ② 手のひらの下部を軸として、LCD表示部上部を下方へ押すように可動させます。

注意) 上記と異なる方法でLCD表示部を可動させると、上手く可動しない場合があります。
ご注意願います。

①



②



文字の入力方法について

ダイヤルボタンを使用してひらがな・カナ・英数字を入力することができます。

ダイヤルボタンで入力できる文字は、ボタンを押すごとに以下のように変わります。

例) 「う」を入力するには、「かな」入力モードにしてダイヤルボタン1を3回押下します。

「B」を入力するには、「英字」入力モードにしてダイヤルボタン2を2回押下します。

モード ボタン	ひらがな（漢字）	カタカナ	英 字	数字
1	あ-い-う-え-お-あ-い-う-え-お- ←	ア-イ-ウ-エ-オ-ア-イ-ウ-エ-オ- ←		1
2	か-き-く-け-こ- ←	カ-キ-ク-ケ-コ- ←	A-B-C-a-b-c- ←	2
3	さ-し-す-せ-そ- ←	サ-シ-ス-セ-ソ- ←	D-E-F-d-e-f- ←	3
4	た-ち-つ-て-と-っ- ←	タ-チ-ツ-テ-ト-ッ- ←	G-H-I-g-h-i- ←	4
5	な-に-ぬ-ね-の- ←	ナ-ニ-ヌ-ネ-ノ- ←	J-K-L-j-k-l- ←	5
6	は-ひ-ふ-へ-ほ- ←	ハ-ヒ-フ-ヘ-ホ- ←	M-N-O-m-n-o- ←	6
7	ま-み-む-め-も- ←	マ-ミ-ム-メ-モ- ←	P-Q-R-S-p-q-r-s- ←	7
8	や-ゆ-よ-や-ゆ-よ- ←	ヤ-ユ-ヨ-ヤ-ユ-ヨ- ←	T-U-V-t-u-v- ←	8
9	ら-り-る-れ-ろ- ←	ラ-リ-ル-レ-ロ- ←	W-X-Y-Z-w-x-y-z- ←	9
0	[あ行、な行、ま行、や行、ら行] わ-を-ん-°-?-!-ゝ-。-□- ← [か行、さ行、た行] わ-を-ん-°-?-?-?-!-ゝ-。-□- ← [は行] わ-を-ん-°-°-°-°-°-!-ゝ-。-□- ←	ワ-ヲ-ン-°-°-°-°-°-?-?-?-!-□- ← [電話帳登録] ！-、-°-°-!-ゝ-。-&/(-)\-#-※-□- ←		0
※				※
#		→（カーソルの右移動）		#

※続けて同じボタンの文字を入力する時には、#ボタンでカーソルを一つ右に移動させてください。

※次に入力する文字が違うボタンの場合は、そのボタンを押下するとカーソルは自動的に右に移動します。

※□：空白（スペース）を示します。

カラーシートの使いかた

透明パネルの下にカラーシートが入っています。

カラーシートには、フリーサインボタンに設定した内容（ワンタッチダイヤルの宛先など）を記入してご使用になれますと便利です。

また、添付していますキー表示シールもご利用ください。

透明パネルを外す場合は、下図のように電話機の手前側（○で囲んでいる部分）を矢印方向に透明パネルを上げると簡単に取り外すことができます。

 注意 透明パネルを取り外す場合は指や爪などをけがしないようご注意ください。



PB信号送出機能（シグナルチェンジ）

SIP-H.323プロトコルゲートウェイ基本サービスを使用してプッシュホンサービスを利用する際のPB信号送出方法として、以下の操作方法があります。

通話中の「＊」ボタンをシグナルチェンジボタンとして、「＊」ボタン押下後ダイヤルボタンを押下するごとに、プッシュホン信号（トーン信号）が送出されます。電話を切ると、PBXとのダイヤル情報に戻ります。

●この操作を行う前に

PB信号送出のシグナルチェンジの設定をONに設定する必要があります。設定については、システム管理者または当社の担当サービス取扱所までご連絡ください。

●電話機の仕様

○：機能あり，×：機能なし，ＯＰ：オプション

機能 \ 機種		i-station 5 0 A 4	i-station 5 0 B 3 W	i-station 5 0 B 3 B
固定機能ボタン（上下キー含む）		8	9	9
フリーアサインボタン		1 2	2 3	2 3
漢字LCD		×	○	○
ハンズフリー機能		×	○	○
ヘッドセット接続（ミニピン）	注1	○	○	○
P Cポート		×	○	○
壁掛け	注2	○	○	○
電子電話帳（5 0 0件）		OP(PC連携)注3	○	○
発信履歴（2 0件）		OP(PC連携)注3	○	○
着信履歴（2 0件）		OP(PC連携)注3	○	○
給電方式	センター給電 注4	○	○	○
	A Cアダプター	O P (FC820AC3)	O P (FC820AC3)	O P (FC820AC3)

注1：ヘッドセットは以下の製品が推奨品となっています。

- (1) FC760A13ヘッドセット+φ2.5変換プラグ
- (2) FC760A14ヘッドセット+φ2.5変換プラグ

注2：オプションで「FC770WM(壁掛用品)」をご購入すると、本製品を壁に掛けてご使用することができます。「FC770WM(壁掛用品)」のご購入については、本製品をお買い上げになった販売店にお問い合わせください。

注3：オプションで「P C連携アプリケーションソフトウェア」をご購入すると、本製品とパソコン間で連携し、電子電話帳を使用してパソコンからの発信操作や発着信履歴といった機能を利用することができます。「P C連携アプリケーションソフトウェア」のご購入については、本製品をお買い上げになった販売店にお問い合わせください。

注4：給電装置は以下の製品が推奨品となっています。

- (1) i S 2 1 2 4 V P
- (2) i S 2 1 1 6 V P
- (3) S R - S 2 2 4 P S 1

●補修用性能部品の最低保有期間

当社は電話機の補修用性能部品を製造打ち切り後7年間保有しています。

補修用性能部品とはその製品の機能を維持するために必要な部品です。

注 意

本製品は、海外為替及び外国貿易管理法が定める規制貨物に該当します。

本製品は、国内でのご利用を前提としたものでありますので、日本国外へ持ち出す場合は、同法に基づく輸出許可等必要な手続きをお取りください。

NOTICE

This product which is intended for use in Japan, is a controlled product regulated under the Japanese Foreign Exchange and Foreign Trade Control Law. When you plan to export or take this product out of Japan, please obtain a permission, as required by the Law and related regulations, from the Japanese Government.

～ メモ ～

お問い合わせ先

--

富士通株式会社

※製品改良のため仕様やデザインの一部を予告なく変更することがありますのでご了承ください。

2010年2月 T101-1225-02